

みちひろ

東海村議会議員 よしだ充宏

Eメール : yoshida@tokai-tsukurukai.jp
ホームページ : <http://www.tokai-tsukurukai.jp>
Facebook : <http://www.facebook.com/tokai.tsukurukai>

発行人：明日の東海村を創る会
(よしだ充宏後援会)
発行責任者：会長 鈴木政浩
東海村白方1586-3 TEL 029-282-8666

みちひろ

よしだ充宏です。

皆さまには日頃より大変お世話になり感謝申し上げます。

去る10月15日に村松コミセンにて村政報告会を実施しました。多くの方々に御出席いただき、誠にありがとうございました。

さて、報告会でもお伝えしたとおり、我々の代弁者は県政にも必要です。来たる12月14日に実施される茨城県議会議員一般選挙は、今後の茨城県の在るべき姿を語る上で我々にとって非常に重要な選挙となります。よしだは、日立市「長谷川修平氏」、水戸市「佐藤光雄氏」、ひたちなか市「二川英俊氏」の後援会活動に参加し支援しています。そして、東海村は「下路健次郎氏」の後援会活動に参加し支援しています。皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

また、村政に向けては、皆さまの声を届けるためによしだが努力してまいりますので、今後も変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い致しますとともに、皆さまのご健勝とご多幸を祈念致します。



写真右から、二川英俊候補、佐藤光雄候補、
長谷川修平候補、よしだ村議



写真左から、下路健次郎候補、よしだ村議

よしだ村議の村政報告会を開催！

地域の声を多方面に向けて発信していくことが大事！



10月15日の村政報告会において、よしだ村議より東海村が目指している今後のまちづくりに関する基本方針や東海村議会における一般質問内容（東海村独自の原子力教育の必要性や避難計画の策定に係る質問など）について報告を行いました。

よしだ村議は、支援者の方々に対して感謝の意を伝えるとともに、「原子力エネルギー政策のような国策に深く係わる東海村だからこそ地域の声を大切に、その声を多方面に向けて発信していくことが大事である。村議として果たす役割は大きい！」と発言し、地域の大切さおよび村議の重要性を肝に銘じてこれからも頑張りたいと決意を新たにしました。

よしだ充宏 マニフェスト進捗状況の報告

安心・安全で住みやすい魅力ある街へ

①ライフラインの即時確保

・ライフラインの復旧を最優先に行うよう求め、一部達成しました。(村長へ要望書提出)

②防犯強化による犯罪数減を

・防犯のための近隣住宅の見回り体制の強化、防犯カメラの設置を求めました。(H25年度6月議会)

③渋滞緩和と事故防止

・照沼笠松線の事業実施および国道6号・245号線の拡幅・周辺整備を求めました。(H25年度6月議会、村長へ要望書提出)

④東海駅の利便性向上

・時間制パーキングの設置、特急停車本数の増加を求めました。(村長へ要望書提出)

子育てがしやすく教育も充実した元気な街へ

①心にゆとりの子育て環境

・私立幼稚園の補助金の充実(他自治体並みに4~5歳児にも拡充)を求めました。(H24年度9月議会、村長へ要望書提出)

②いじめや不登校の撲滅

・スクールカウンセラーの充実を求めました。(H24年度9月議会)

③両親が働ける環境充実

・幼児の援助について求めました。(H24年度9月議会)

④地域学力ナンバー1

・少人数学級の推進、学童保育・待機児童に対する迅速な対応を求めました。(H24年度9月議会)

働く場を創出し子供達が戻ってくる明るい街へ

①とにかく近隣雇用の増加

・農業後継者に対し税制上の優遇処置を求めました。(H24年度3月議会)

②地域活性化

・地元消費、地産地消の推進、地域アピールプロジェクトの提唱を行いました。(村長へ要望書提出)

③東海村の観光資源と特産品について

・東海十二景の活用、ふるさと納税の状況等(H26年度6月議会)

④3世代近隣住居モデル地区について

・複数世代の家族と同居する子供に対し、所得税や相続税などを軽減することを求めました。(H24年度3月議会)

健康第一を全力でサポートするやさしい街へ

①産婦人科の常設化

・常勤医師の増員を図り機能充実を求めました。(村長へ要望書提出)

②地域協働での健康づくり

・すこやかチャレンジプランをさらに充実させ、健康まち宣言を求めました。(H26年度6月議会)

③公共施設の自動販売機について

・熱中症対策の観点からも公共施設への自動販売機再設置を求め、設置されました。(H24年度3月議会、H26年度6月議会)

地域福祉の展開、在宅介護・一人暮らし高齢者の支援強化、東海病院の充実化を目指します!

安全で健全な原子力技術と共存共栄する街へ

①より安全な原子力技術の研究開発と原子力科学の利用促進

・原子力産業は東海村の基幹産業であり、日本原子力発電(株)は、裾野が広い産業であることを訴え、安全性の達成可能な最高なものを求めました。(H24年度3月議会)

②原子力平和利用に対する安全監視や防災体制の強化

・原子力災害対策施設等整備補助金の活用を求めました。(H26年度6月議会)

③公正な行政運営を監視

・原子力関連施設の更なる安全性の強化、廃棄物の処理処分の推進を求めました。(村長へ要望書提出)

豊かな地域と暮らしへの取組み

①地域ボランティア活動

・オレンジクリーナー作戦清掃活動(毎月実施)
・自治会活動
・列島クリーンキャンペーン
・東海ライオンズクラブのボランティア活動

②地域行事への参加

③観光協会プロジェクト

④みちづくりで「ゾーン30」を提案



オレンジクリーナー作戦清掃活動

～東海第二原発の状況について～

東海第二発電所内の使用済燃料貯蔵プールには、約250体の使用済燃料が保管管理されており、新規規制基準への適合性を国に確認してもらうことは、住民の安心につながるため、原子力規制委員会には、早々の審議開始を望みたいと思います。

一方、事業者である日本原子力発電(株)へは、今後も自治体、住民への積極的な情報提供に係る取り組みをお願いします。

～東海再処理施設の一部施設の使用取りやめについて～

日本原子力研究開発機構の改革報告書では、「東海再処理施設の使用済燃料せん断・溶解を行う一部の施設の使用を取りやめ、次期中期目標期間中に廃止措置計画を申請する方針で検討を進める」とありますが、安全は最優先であり、東海再処理施設の安全対策を積極的に進めるよう要求していきます。

よしだ充宏 プロフィール

- 自宅：東海村白方
- 家族：妻、一男三女、両親と同居
- 年齢：54歳
- 地域活動：観光協会会員、東海ライオンズクラブ会員
- 趣味：薪作り、読書、映画鑑賞etc
今年気になった映画は、「アナと雪の女王」、「パンドラの約束」
- 好きな言葉：「一期一会」
(その時、その出会いを大切に)
- 信条：明るく・楽しく・元氣よく
(前向きに生きること)
- お酒：全く飲めません